[本日のプログラム]

≪第１部≫

モーツァルト (1756～1791)
オペラ 《フィガロの結婚》第２幕より
伯爵のアリア 『もう訴訟に勝っただと！』

モーツァルト (1756～1791)
オペラ 《ドン・ジョヴァンニ》第１幕より
ジョヴァンニとツェルリーナのデュエット
『お手をどうぞ』

プッチーニ (1858～1924)
オペラ 《マダム・バタフライ》第２幕より
蝶々さんのアリア 『ある晴れた日に』

プッチーニ (1858～1924)
オペラ 《ラ・ボエーム》第３幕より
マルチェッロとミミのデュエット

＊

《天沼裕子オペラミニ講座》
いい声を出すための準備はどうするの？
オペラではどんな練習をするの？
（コレペティトゥアのお話）
指揮法について　　など

＊

マスカーニ (1863～1945)
オペラ 《カヴァレリア・ルスティカーナ》より
間奏曲

～～～ 休憩 ～～～

≪第２部≫

～日本語の歌から～

我は海の子 （宮原晃一郎作詞　文部省唱歌）
待ちぼうけ （北原白秋作詩　山田耕筰作曲）
落葉松 （野上彰作詩　小林秀雄作曲）
浜辺の歌 （林古渓作詩　成田為三作曲）
風の子供 （竹久夢二作詩　中田喜直作曲）

（合唱）
落葉松 （野上彰作詩　小林秀雄作曲）
バケツの歌 （佐藤一公訳詞　アメリカ民謡）
ラジオ体操の歌
（藤原洸作詞　藤山一郎作曲　青島広志編曲）
少年時代（井上陽水作詞　井上陽水・平井夏美作曲）

＊

プッチーニ (1858～1924)
オペラ 《トゥーランドット》第３幕より
リューのアリア 『氷のような姫君の心も』

ビゼー (1838～1875)
オペラ 《カルメン》第３幕より
エスカミーリオのアリア 『闘牛士の歌』

※進行の都合により曲順を変更する場合があります。

出演　天沼裕子（お話＆ピアノ）
中宗未央（ソプラノ）
藤岡弦太（バリトン）
天沼裕子スペシャル合唱団

～ 歌で人生のドラマを味わう。 歌は人を勇気付ける。～

≪プロフィール≫

天沼 裕子 Yuuko Amanuma　お話＆ピアノ

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。旧西ドイツ、ハノーファー国立音大大学院指揮科修了。1989年オーケストラ・アンサンブル金沢初代常任指揮者に就任。95年度文化庁海外派遣研修員としてオペラの研鑽を積む。99年ドイツ・ザクセンアンハルト州州都マグデブルグ歌劇場の指揮者に就任、また、座付作曲家の栄誉を得る。03年同歌劇場を率いての引越公演『アイーダ』では、日本各地で満場の聴衆を沸かせた。05年よりバイエルン州州立ヴュルツブルク音楽大学オペラ科主任・指揮科教授。指揮者、作曲家、コレペティトゥアとしてヨーロッパをはじめ国内各地でオペラ、コンサート等で活躍している。

中宗 未央 Mio Nakamune　ソプラノ

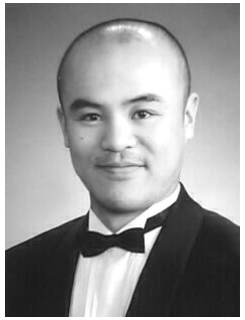
東京学芸大学　大学院卒業

ヴュルツブルク音楽大学卒業（Diplom）

現在、同音楽大学　Fortbildung　クラス　在学中

高橋　修一、Carmen　Hanganu、Cheryl　Studer

各氏に師事



藤岡 弦太 Genta Fujioka　バリトン

東京芸術大学卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同大学院修了。

オペラではこれまでに『魔笛』パパゲーノ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『ドン・ジョヴァンニ』レポレッロ、『コシ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『ウィンザーの陽気な女房たち』カイウス、『リゴレット』マルッロ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、『カルメン』ダンカイロ、『道化師』シルヴィオ等で出演。第 41 回日伊声楽コンコルソ入選。

天沼裕子スペシャル合唱団

俊友会合唱団・珠洲市民合唱団・珠洲フラウエンコール、3つの合唱団の合同で特別編成された合唱団。天沼裕子と音楽を愉しむ会の会員である。

LA PORTE SUZU performing-arts center
ラポルトすず
珠洲市多目的ホール

天沼裕子プロデュース

能登を励ますコンサート

2007年9月2日(日)15時開演

ラポルトすず

主催：珠洲市・天沼裕子と音楽を愉しむ会　協力：珠洲市音楽文化協会